

## ⑥雑音指数アナライザ

メーカー: アジレント・テクノロジー株式会社  
型式: N8975A/N4002A

- 10MHz~26.5GHzの周波数帯域で、最大30dBまでの雑音指数の測定が可能。
- 利得測定も可能。
  - ノイズ・ソース (N4002A) を使用します。
  - 雑音指数測定、利得測定の同時測定も可能です。

### ■ 雑音指数アナライザ

任意のノイズ量を出力するノイズソースをON/OFFして校正時、測定時それぞれ2回づつ(計4回)ノイズ量を測定し、その結果から、測定物の利得と雑音指数(NF)を計算して結果を表示する測定器です。

- 小さなノイズ: ノイズソースON時
- 大きなノイズ: ノイズソースOFF時
- 校正: 測定系のみを通過したノイズ量をノイズソースON, OFF時の2回測定します。
- 測定: 測定対象物、及び測定系を通過したノイズ量をノイズソースON, OFF時の2回測定します。

### ■ ノイズソース (SNS: スマートノイズソース)

- ENR (過剰雑音比) 値が内部のEPROMに書き込まれ、雑音指数アナライザに自動的に情報をダウンロード可能です。
- 測定環境の温度をノイズソース内のセンサで検知可能です。
- N4002AでのENR値は、15dBです。

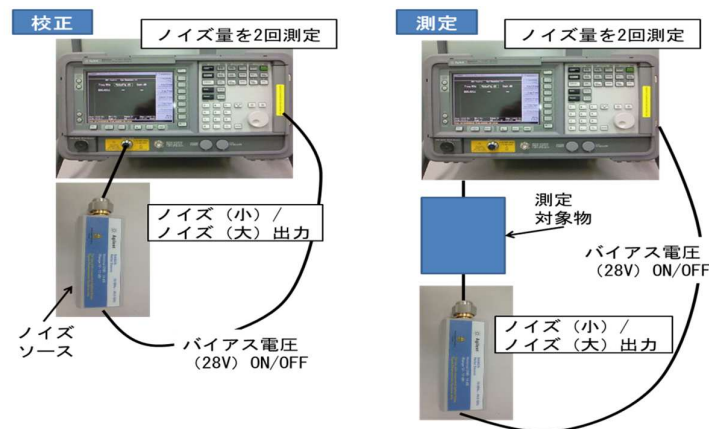


### ■ 特長

- 雑音指数アナライザ「N8975A」は、雑音指数測定と利得測定を同時に実行でき、またデータを様々なフォーマットで表示、プリント、保存が可能です。
- 専用GPIOを使用したL0制御、IF制御を使用した、増幅器(アンプ)や周波数変換装置(ミキサー)の特性評価にも使用可能です。

### ■ 主な仕様

- N8975A 雑音指数アナライザ
  - ✓ 周波数帯域10MHz - 26.5GHzをワンボックスのソリューションで提供
  - ✓ 標準でAPC 3.5(メス)コネクタを装備
- N4002A ノイズソース
  - ✓ 10 MHz - 26.5 GHzの周波数帯域
  - ✓ ENR校正データの電子保存により、ユーザによるエラーが減少
  - ✓ ENRデータを雑音指数アナライザへ自動ダウンロードすることにより、全体的なセットアップ時間を短縮。
  - ✓ 温度補正により、測定精度の向上し、厳密なデバイスの性能仕様を実現。



公益財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団  
社会システム実証センター

〒819-1122 糸島市東1963-4

TEL: 092-331-8510 FAX: 092-331-8515

URL: <http://jiss.ist.or.jp/> e-mail: [jiss-itoshima@ist.or.jp](mailto:jiss-itoshima@ist.or.jp)

